【表紙】

【提出書類】	内部統制報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の４第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月26日
【会社名】	株式会社インデックス・ホールディングス
【英訳名】	Index Holdings
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 落合 正美
【最高財務責任者の役職氏名】	常務取締役 村上 幸正
【本店の所在の場所】	東京都世田谷区太子堂４丁目１番１号
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目５番８号）

１【財務報告に係る内部統制の基本的枠組みに関する事項】

代表取締役社長 落合 正美 は、当社及び連結子会社並びに持分法適用会社（以下「当社グループ」という。）の財務報告に係る内部統制の整備及び運用に責任を有しており、企業会計審議会の公表した「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準並びに財務報告に係る内部統制の評価及び監査に関する実施基準の設定について（意見書）」に示されている内部統制の基本的枠組みに準拠して財務報告に係る内部統制を整備及び運用しております。

なお、内部統制は、内部統制の各基本的要素が有機的に結びつき、一体となって機能することで、その目的を合理的な範囲で達成しようとするものであります。このため、財務報告に係る内部統制により財務報告の虚偽の記載を完全には防止または発見することができない可能性があります。

２【評価の範囲、基準日及び評価手続に関する事項】

（１）基準日

財務報告に係る内部統制の評価は、当事業年度の末日である平成21年８月31日を基準日として行っております。

（２）評価の基準

本評価におきましては、一般に公正妥当と認められる財務報告に係る内部統制の評価の基準に準拠いたしました。

（３）評価手続の概要

本評価におきましては、連結ベースでの財務報告全体に重要な影響を及ぼす内部統制（全社的な内部統制）の評価を行った上で、その結果を踏まえて、評価対象とする業務プロセスを選定しております。

当該業務プロセスの評価におきましては、選定された業務プロセスを分析した上で、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、当該統制上の要点について整備及び運用状況を評価することによって、内部統制の有効性に関する評価を行いました。

（４）評価の範囲

全社的な内部統制及び財務報告に係る内部統制の評価の範囲は、財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性の観点から必要な範囲を決定し、当社及び上場連結子会社２社並びにその他連結子会社10社といたしました。財務報告の信頼性に及ぼす影響の重要性は、金額的及び質的影響の重要性を考慮して決定しております。なお、上記以外の連結子会社につきましては、金額的及び質的重要性の観点から僅少であると判断し、全社的な内部統制の評価範囲に含めておりません。

業務プロセスに係る内部統制の評価範囲につきましては、各事業拠点の売上高を高い拠点から合算していき、連結売上高の概ね３分の２に達している連結子会社を「重要な事業拠点」といたしました。

３【評価結果に関する事項】

下記に記載した事項は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、重要な欠陥に該当すると判断します。従いまして、当事業年度末日における当社グループの財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断いたしました。

記

（１） 当社は、適切な財務諸表等の作成に必要な会計処理や網羅性の検討及び承認手続の運用等、決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備及び運用が不十分であったため，当期の連結財務諸表及び財務諸表について，監査人より複数の誤謬を指摘されました。いずれも財務報告の正確性を検証する適切な内部統制が整備・運用できなかったことに起因するものであります。

これは、期末監査の過程で発見されたものであり、是正する時間的猶予がなかったことから、事業年度の末日までに是正できませんでした。

なお、監査人より指摘された複数の誤謬は、いずれも適切に修正しており、連結財務諸表及び財務諸表に及ぼす影響はありません。

（２） 連結子会社である株式会社インデックスは、適切な財務諸表等の作成に必要な会計処理や網羅性の検討といった決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備及び運用が不十分であったため，当期の財務諸表について，監査人より複数の誤謬を指摘されました。いずれも財務報告の正確性を検証する適切な内部統制が整備・運用できなかったことに起因するものであります。

これは、期末監査の過程で発見されたものであり、是正する時間的猶予がなかったことから、事業年度の末日までに是正できませんでした。

なお、監査人より指摘された複数の誤謬は、いずれも適切に修正しており、財務諸表に及ぼす影響はありません。

（３） 海外連結子会社であるIndex Multimedia SAにおいて、会計方針や経理処理に関する業務手順等を定めた業務に関する規程が整備されておらず、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに係る内部統制の整備・検証が不十分でした。これは、業績の悪化等により管理部門の人員増強が難しく、内部統制対応に必要な経理能力及び十分なレビューを行なう体制の整備の時間が取れなかったため、期末までに適切な内部統制を整備し運用するには至らなかったことによるものであります。

なお、財務諸表につきましては、監査人による財務諸表監査の結果、適正であります。

（４） 上場連結子会社である株式会社アトラスは、同社の米国連結子会社Atlus U.S.A.,Inc. における債権管理プロセス及び人件費管理プロセスについて、日常的モニタリングが十分に設計されていなかったことにより、当該業務プロセスに係る内部統制に整備上の不備があり、結果として財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、重要な欠陥に該当すると認識し、当該事業年度末日における同社グループの財務報告に係る内部統制は有効ではないとの内部統制報告書（平成21年10月29日付）を提出しております。

以 上

４【付記事項】

（１）事業年度の末日後に重要な欠陥を是正するために実施された措置

① 当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、グループ全体における管理組織体制の再編を行い、適切な内部統制の整備に着手しております。

② 上場連結子会社である株式会社アトラスは、同社内部統制報告書に記載のとおり、内部統制報告書提出日（平成21年10月29日）時点において、同社の米国連結子会社Atlus U.S.A.,Inc.における内部統制の不備を是正すべく、業務フロー、管理体制の整備等の改善に着手しております。

（２）財務報告に係る内部統制の有効性の評価に重要な影響を及ぼす後発事象

① 上場連結子会社である株式会社アトラスは、平成21年９月17日開催の同社臨時取締役会において、平成21年12月１日（予定）を効力発生日として、同社のアミューズメント施設関連事業を会社分割（新設分割）により新たに設立される会社へ承継させた上で、当該会社の株式を中小企業レジャー機構株式会社へ譲渡することを決議いたしました。これにより、翌期以降の財務報告に係る内部統制に重要な影響を及ぼす可能性があります。

② 上場連結子会社である株式会社アトラスは、平成21年10月30日付で株式会社ゴンゾロッソの発行済株式の54.6%を取得し、株式会社ゴンゾロッソは同社の連結子会社となりました。これにより、翌期以降の財務報告に係る内部統制に重要な影響を及ぼす可能性があります。

５【特記事項】

特記すべき事項はありません。